

競 技 上 の 注 意

- 1 本大会は、令和4年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程及び監督会議資料（事前連絡版）、大会取り決め事項に従い運営する。
- 2 オーダー用紙の提出について
 - (1) オーダー用紙は、「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」の3部で構成される。
 - (2) オーダー用紙は、「本部用」、「対戦チーム用」及び「自チーム用」を対抗戦開始予定時刻の30分前までに大会本部に提出する。
 - (3) 初戦以降のオーダー用紙は、勝ちチームが対抗戦終了後に各会場の大会本部で受け取る。
 - (4) 対抗戦が連続する場合、ブレイクタイムの間隔は、20分程度空ける。

次の対抗戦開始時刻10分前までに、監督がオーダー交換所へ提出する事。
- 3 対抗戦開始予定時刻に館内放送で呼び出す。チーム役員及びプレーヤー（各コートにベンチ入り出来るのは大会事前登録、或いは6月8日までに変更届けが受理されたメンバーに限られ、最大4名まで）は、直接当該コートに速やかに集合する。

ベンチ入りしないチーム要員は観客席に1席ずつ空けて着座、拍手のみの応援を認める。
- 4 ベンチは主審に向かって右側を組み合わせ番号の若いチームが使用する。若いチームが使用する。ベンチのチェンジエンスは認めない。

コートからの退場については、主審の指示に従う事。
- 5 コート入場後の公式練習は、各マッチともダブルスの場合はパートナー同士、シングルスの場合は対戦者同士による3分間とする。ヒッティングパートナーは認めない。
- 6 シャトルは試打してあるので、選択は認めない。

※シャトルの交換については、主審の許可を得る事。[公認審判員規程第5条第13項(1)]
- 7 インターバルは、競技規則第16条第2項に拠る。

インターバル中、コートに入れるのは当該プレーヤーのほか、ベンチ要員の内、2名までとするが、「20秒」のコールがなされたら、当該プレーヤー以外は速やかにコートから離れる事。[公認審判員規程第5条第4項(13)]

尚、第1ゲームと第2ゲームの間及び第2ゲームと第3ゲームの間並びに第3ゲームのインターバルでは、プレーヤーがチェンジエンスを行ったエンドに入るようにする事。
- 8 ベンチ要員はインプレーでなくなった場合に移動する。（立ち上がったのアドバイス〈インターバル以外〉、応援は認められない）[公認審判員規程第5条第12項(2)]
- 9 プレーヤーへのアドバイスは、インプレーでなくなってから認める。プレーヤーの次のサービスの態勢が整ってからは認められない。[公認審判員規程第5条第12項(1)]
- 10 対抗戦は、2複3単で行い、複より行う。
- 11 競技進行上、対抗内のマッチを並行して行う。3点先取（第1次リーグ戦内は全て行うが、勝敗決定後のシングルスはメンバーチェンジを認める。その際、必ず本部へ申告し、レフェリー〔競技役員長〕の承認を得る。全てのマッチは順位決定に反映される。）で打ち切りとする。
- 12 競技進行上、コートを変更する場合がある。

- 13 マッチ中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、競技役員長（レフェリー）または競技審判部長（デピュティレフェリー）が必要と認める大会医療スタッフ・競技役員に限られる。〔公認審判員規程第5条第14項（1）〕
- 14 競技に際しては、上衣の背面にチーム名（必須）、（表示する場合は、背番号、胸番号、プレーヤー名）を明示（文字は、上衣の素地の色と明確に判別できる文字色）する事。
〔大会運営規程第23条、第24条〕
また、マッチ前の公式練習を含め、ベンチに控えている際にもチーム名の表示のある上衣を着用する事。監督も大会で許可された着衣で臨む事（大会記念シャツは認められない）。
〔大会運営規程第4章第24条、大会取り決め事項〕。
- 15 コートサイドにプレーヤー用バスケット、ドリンクホルダーを設置しない。水分補給用ボトル、タオル、交換用ラケットは、競技フロアに直置きにせず、コートサイドの各個人のラケットバッグの中に置く。
- 16 水分の補給については、主審の指示に従う事。
 - （1）蓋付のボトルのみ使用を許可する。ボトルは必ずバック中に置く。
 - （2）ベンチ内の給水ボトルは必ずバック中に置く。
※クーラーボックスは持ち込まない事。また、氷嚢の使用はインターバル中のみ認める。
使用後は必ずバッグ等に保管する事。
- 17 各マッチ（ダブルス又は、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、対戦者、主審及びサービスジャッジに敬意と謝意を払う事。（握手、ハイタッチなどの接触行動は避ける事）
- 18 競技区域（競技フロア）では、モバイルフォン（携帯電話、スマートフォン）の電源を切る事。〔公認審判員規程第5条第1項（4）〕
- 19 応援については、電子楽器使用や声援は行わず、拍手のみ許可する。
- 20 マッチ中以外のプレーヤー、及びベンチ要員はマスク着用を義務付ける。
- 21 各アリーナに於いて空調（エアコン）を使用する。
- 22 本大会ではドーピング検査を実施する。

以上 レフェリー 宮路秀憲